おんがく広場
Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい
♪Music Square♬
第251号
令和2年(2020)4月10日創刊
令和5年(2023) 11月15日(水)
発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一
連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

彩の国シニアコーラスフェスタ2023

合唱は生涯学習。

クッキー会
加藤良一

彩の国プラチナ合唱団（混声）

11月11日(土)、**彩の国シニアコーラスフェスタ2023**が**響の森 桶川市民ホール**で開催されました。主催は**埼玉県合唱連盟・シニア委員会**です。シニア委員会は、県連理事及びOBの計15名で構成しています。

豊かな経験に基づいた詩の理解力がある。共に年齢を重ねた仲間と長く楽しく歌い続けてほしい。そう願っていた埼玉県合唱連盟が、ついに新たな企画「**彩の国シニアコーラスフェスタ**」を開催しました。「歌を歌う」ということがどれほど健康に良いことか、理学療法士さんに簡単な体操や身体を動かす方法を教えていただき、高齢化社会に向かっていかに健康に楽しく過ごしていけるかを実践するのがフェスタの狙いです。

第1部8団体、第2部15団体＋彩の国プラチナ合唱団の計24団体が出場しました。足腰が不自由で椅子に座って歌われる方や、90歳を超してもなお元気に歌う方もおられました。筆者は、司会進行を担当し、全体的にアットホームな肩の凝らないものにしました。

録音録画は決まった場所で、なおかつ自団の演奏にかぎって自由にやってよいこととしました。演奏前の団紹介は、司会が読み上げてもよいし、あるいは団の代表が喋ってもよいことにしていましたが、ほぼ半数の団体が自分たちで紹介してくれました。演奏後は、すぐに講師による講評を行いました。さらにもう一人の講師が別の角度から講評用紙に記入するというやり方を採用し、好評を博しました。もっとも、講評するほうはすぐその場で言わなくてはいけないので、なかなか大変でした。公募で集まった100人以上の**彩の国プラチナ合唱団**は、高橋晴美作詩・作曲 **女声合唱曲「母に贈るうた」**(指揮:小野瀬照夫、ピアノ：持田みどり)と、覚和歌子作詩・信長貴富作曲 **混声合唱曲「リフレイン」**(指揮:國弘雅也、ピアノ：持田みどり)を演奏しました。

合唱と健康

今回は「**合唱は生涯学習**」をテーマとして掲げ、**埼玉県理学療法士会**のご協力を得て、理学療法士さんによる「合唱」と「健康」の関係について指導して頂くステージを前後半に２回設けました。医療の現場で活躍されている方の解説は具体的で説得力があり、合唱練習のウォーミングアップにも使えるものでした。声の維持に欠かせないのは、やはり正しい呼吸と姿勢であることが強調され、このことは、われわれがつねに気にかけていることなので、みな熱心に耳を傾けていました。

続いて実際にストレッチ体操の指導をして頂きました。

この大会の構想は、以前から温めていました。ただ楽しく歌い合うだけではなく、歌うことと健康とがどうつながるのか、医学的・科学的な視点から専門家の助言をいただく場を設定しました。

小野瀬照夫埼玉県合唱連盟理事長は「大会名を決めるにあたり、Silverは白髪というイメージですが、**Seniorには年上とか先輩という意味があり**、これだと思いました」と述べていました。

次回は、令和6年(2024)11月25日(月)所沢市民文化センター・ミューズ アークホールで開催予定です。

(より詳しくは こちら をご覧ください。)

編集委員：江川善裕、大島誠一郎、加藤良一(責任者)、新祖章、野口享治、星野英明、南めぐみ

バックナンバーはこちらでご覧ください